

野村無名庵 むななな 小説家、演藝評論家。明治二十一年八月、二十二年東京生れ、昭和二十五年五月、二十五日歿（八八—一九四五）。本名元基、初名元雄。筆名古豆里東山、木枕生、林七十郎、武山、武島十郎等。府立第一中學校中退。二代目古今亭今亭の輔の弟子入り。のち日本演藝通信社入社。演藝記事を中心新聞等へ寄稿、また新作落語の創作にも當る。空襲により死去。

著書『新編大岡捕物帖』（昭和十五年五月）二十日博文館、『博文館文庫』、『海防時代捕物帳』（内題「海防時代捕物帖」昭和十七年四月一日新正堂）、『落語通談』（昭和十八年九月十五日高松書房）、『本朝話人傳』（昭和十九年四月）二十日協榮出版社。再刊『本朝話人伝』五十八年五月十日中央公論社「中央文庫」等。

